

すべてのこどもに
笑顔と夢を。



こどもの未来応援国民運動



こどもの貧困？ この日本で？

生まれ育った家庭やさまざまな事情から、健やかな成長に必要な生活環境や教育の機会が確保されていないこどもがいます。

人とのつながりが少なく、
社会的に孤立している。

児童養護施設を
退所した後の
生活基盤が不安定。

高校や大学、専門学校などに
進学したいけれど、
経済的理由であきらめている。

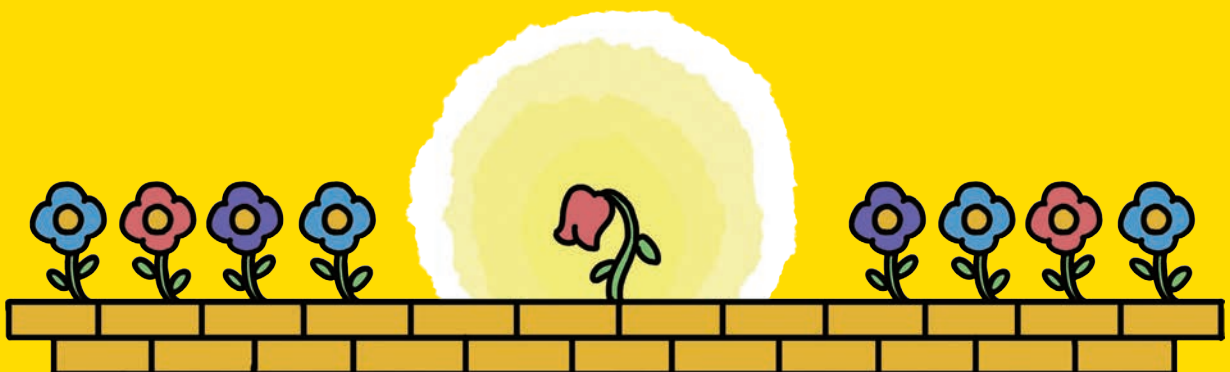
こどもだけの時間が多く
保健衛生などの知識や
習慣が身につかない。

「頑張っても仕方がない」と
将来への希望をなくし、
学ぶ意欲をなくしている。

視野を広げる機会や文化的な体験に
乏しく、「こんな人になりたい」という
ロールモデルがない。

栄養バランスの
とれた食事は、一日の中で
給食しかない。

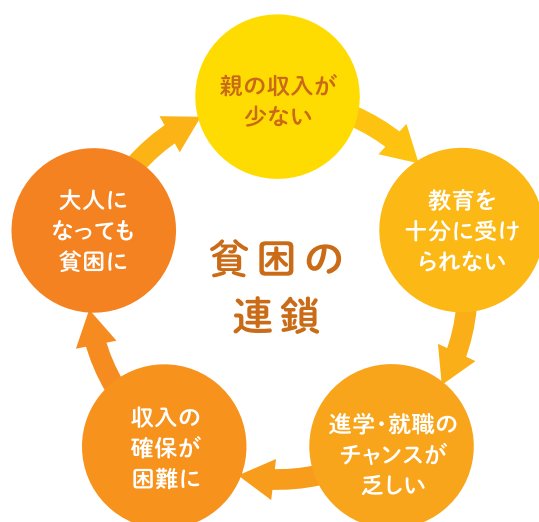
それぞれの家庭にどんな事情があろうとも、
生まれ育った環境によって
こどもの将来が閉ざされることがあってはなりません。



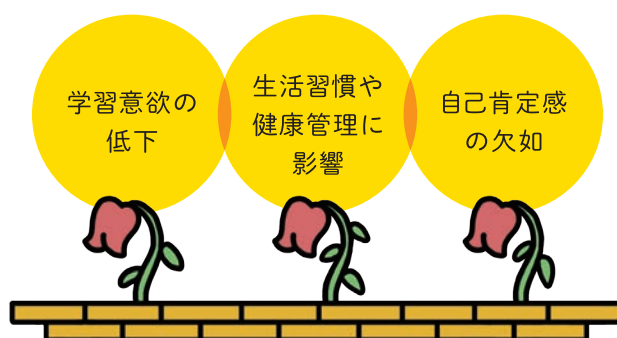


放っておくと、どうなるの？

貧困の状況は次世代にも連鎖し、日本社会の担い手となる
こどもの健やかな成長を妨げ、労働力や市場の縮小、
社会保障費の増加など社会的な損失につながります。



経済的な困窮にとどまらず、
さまざまな影響を及ぼします。



こども一人ひとりの将来と、
日本の将来が閉ざされてしまう。



こどもたちの未来を応援することは、
「未来への投資」です。



国は対策を強化しています。

教育を支援

幼児期から高等教育まで
教育費の負担を軽減



生活を支援

親の妊娠期から
暮らしの課題・悩みを解決



保護者の就労を支援

ひとり親などの就労、
学び直しや職業訓練を支援



経済的な支援

生活費や進学等に
必要な支出を支援



2014年
(平成26年)

- 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」施行(1月)
- 「子供の貧困対策に関する大綱」策定(8月)

2015年
(平成27年)

- 地方自治体への交付金を創設[地域子供の未来応援交付金]
- 学習支援の開始[生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援事業] など

2016年
(平成28年)

- ひとり親に対する現金給付(児童扶養手当)の多子加算額を倍増
(第2子について36年ぶり、第3子以降について22年ぶり) など

2017年
(平成29年)

- 奨学金事業を充実[給付型奨学金制度の創設等]
- 児童養護施設等において22歳の年度末まで支援を実施[社会的養護自立支援事業] など

2018年
(平成30年)

- 生活保護世帯の子供に対する大学等進学支援(進学準備のための一時金創設など)
- 児童扶養手当の全部支給に係る所得制限限度額の引上げ

2019年
(平成31年・令和元年)

- 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」改正(6月)
- 新たな「子供の貧困対策に関する大綱」策定(11月)
- 幼児教育・保育の無償化

2020年～22年
(令和2年～4年)

- 高等教育の修学支援新制度の実施(授業料等の減免、給付型奨学金の支給)
- 高等学校等就学支援金の拡充(私立高校生への支給上限額の大幅な引上げ)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、様々な緊急支援を実施

2023年
(令和5年)

- 「こども家庭庁」設立(4月)
- 「こども大綱」策定(12月)

2024年
(令和6年)

- 「こどもまんが実行計画2024」策定(5月)
- 「子どもの貧困対策の推進に関する法律(こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律)」改正(6月)



しかし、こどもの貧困は 見えにくいのです。

こども・家族に貧困であるという
自覚がないので、
自分から支援を求めない。

.....

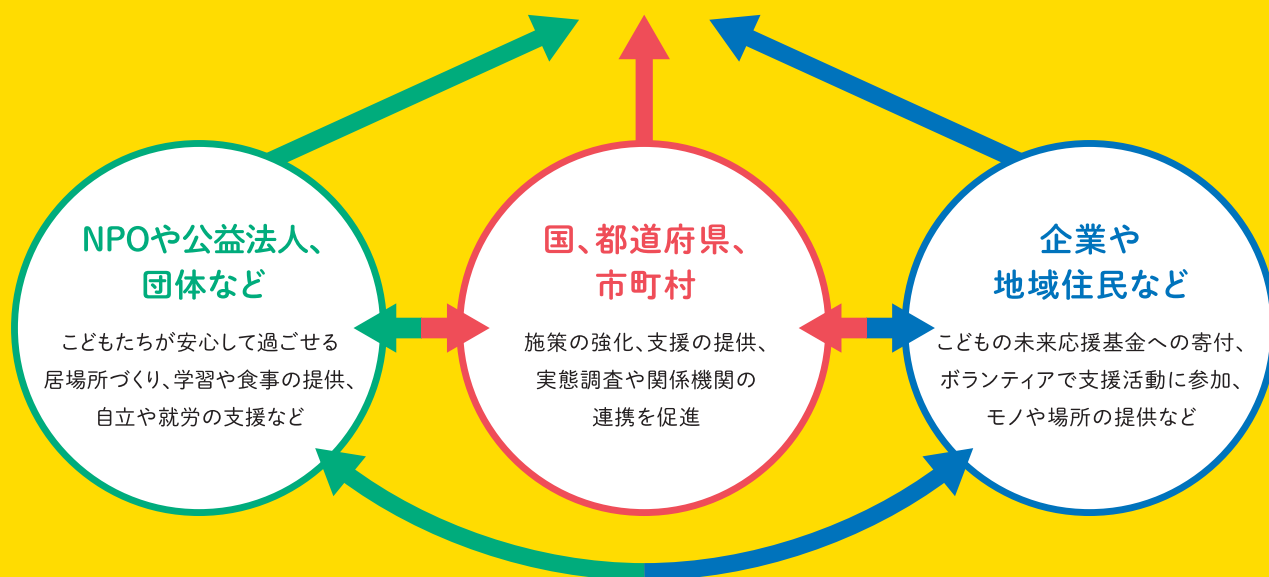
貧困の自覚があっても、
周囲の目を気にして表に出せない。



頼れる親戚や、
近隣付き合いがなく、
地域の目が届かない。

.....

国や地方自治体の
支援情報が届かず、
社会的に孤立しやすい。



こどもの未来応援国民運動で
.....
支援の輪を広げています。
.....



こどもの未来応援

国民運動とは？

こどもを社会全体で応援する機運を高め、
こどもの貧困対策が国を挙げて推進されるように
するための官公民の連携・協働プロジェクト。

※「子供の貧困対策大綱」(H26.8閣議決定)に基づき、H27.4発起人集会を開催。同年10月から運動開始。

子供の貧困対策に関する大綱(令和元年(2019年)11月29日閣議決定)

子供の貧困対策が国を挙げて推進されるよう、「子供の未来応援国民運動」を通じ、国、地方公共団体、民間の企業・団体等によるネットワークを構築し、地方公共団体における取組や民間団体の支援活動の情報等の収集・提供や、子供の未来応援基金を通じた支援、民間企業と支援を必要とする民間団体のマッチング等、官公民の連携・協働プロジェクトを推進する。

また、このような取組について積極的に情報発信し、国民の幅広い理解の下、子供を社会全体で支援する機運を高めていく。

「こどもの未来応援国民運動」の3つの柱

こどもの未来 応援基金

企業や個人からの寄付金を通じて、こどもたちに寄り添った活動を実施する民間団体を支援。

P6-P18

マッチング

サポートしたい企業とサポートを求める支援団体をつなぎ、企業等からの「モノ」「場所」「体験」の提供等の寄付先を調整。

P19-P21

情報発信

ホームページ、SNS等を通じた情報発信と普及啓発。

P22-P24

「こどもの未来応援国民運動」の3つの柱

こどもの未来応援基金

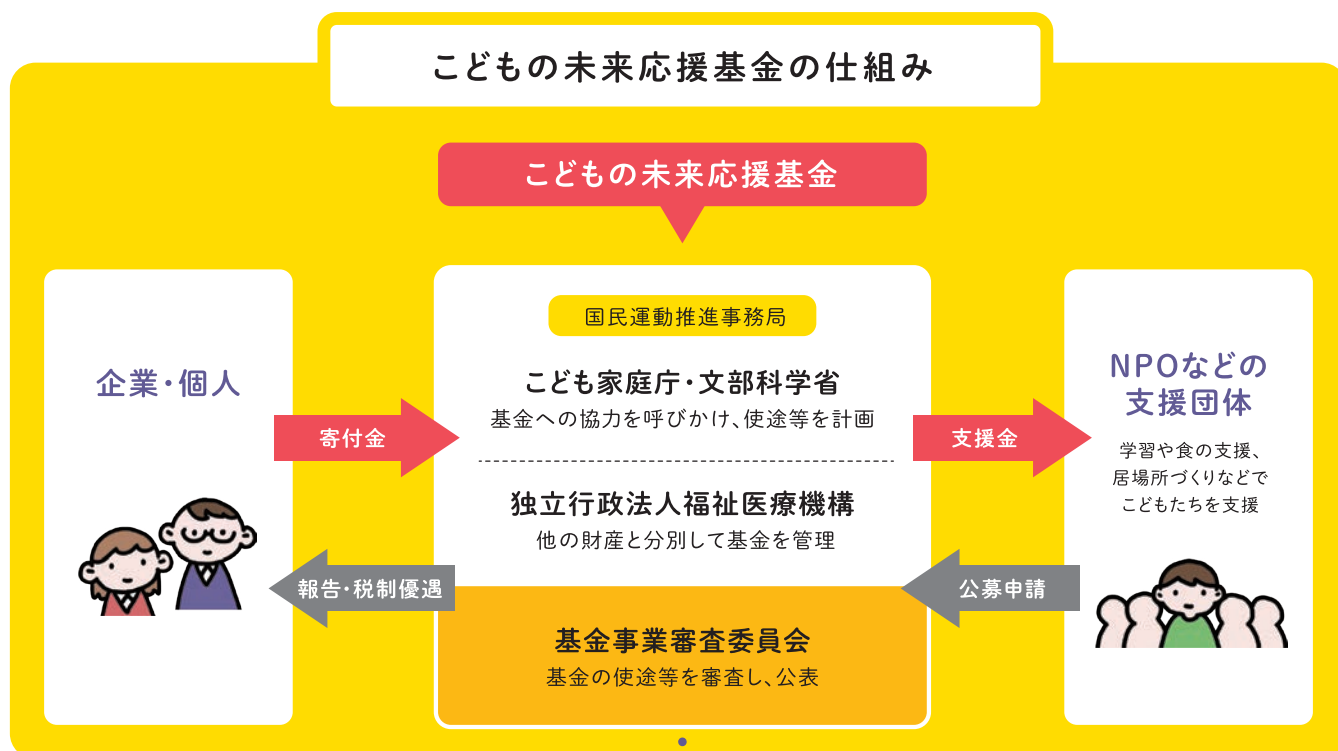
とは？

企業や個人から広く募った寄付を、公募・審査を経て選定した支援団体の活動に提供します。
学びの支援や居場所の提供、こども食堂やフードバンクなどの生活支援など、経済的に厳しい状況にある
こどものための様々な支援活動に、「こどもの未来応援基金」が役立てられています。



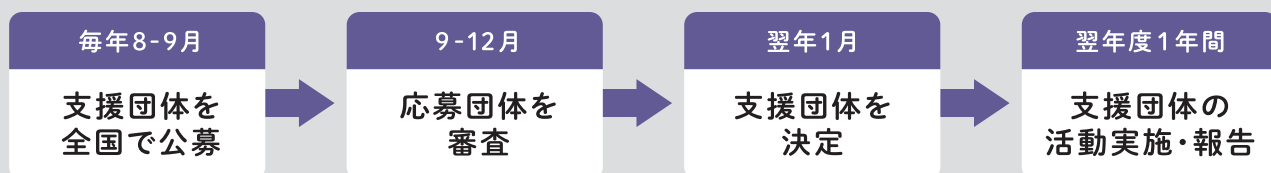


こどもの未来応援基金の仕組み



未来応援ネットワーク事業

「支援先をどのように選べばよいかわからない」「全国展開する企業として、地域の偏りなく支援したい」など、皆様が感じている課題に対応し、さまざまな活動を実施する支援団体の審査、選定から事後評価、成果に関する情報発信などを行います。



※実際の実施時期は、前後する場合があります





こどもの未来応援基金 を通じて こどもの未来を応援します

国の対策を充実強化するとともに、企業や個人から広くご寄付を募り、地域で子どもたちを支援する団体等の活動資金として活用しています。

寄付方法

クレジットカードと銀行振込の2通りあります。振込先の銀行口座は下記の通りです。

銀行名：三菱UFJ銀行
支店名：東京公務部(支店番号:300)
預金種別：普通
口座番号：0075567
口座名(漢字)：独)福祉医療機構 こどもの未来応援基金
口座名(カナ)：ドク)フクシイリヨウキコウ コドモノミライオウエンキキン

- ・「振込依頼書」は、国民運動推進事務局(こども家庭庁もしくは独立行政法人福祉医療機構/WAM)に「寄付申込書」をお送りいただければ、送付いたします。
- ・「寄付申込書」については独立行政法人福祉医療機構[03-3438-0211]にお問い合わせください。
- ・領収書の発行など、くわしくは福祉医療機構のホームページ内「こどもの未来応援基金」をご確認ください。
WAM > こどもの未来応援基金 > 寄付金のお願い(こどもの未来応援基金)
<https://www.wam.go.jp/hp/guide-kodomomiraiouenkikin-tabid-2621/>



税制優遇

法人の場合、一般の寄附金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金の損金算入限度額まで損金に算入することができます。損金算入限度額は、その法人の資本や所得の金額などによって異なります。

$$\text{損金算入限度額} = (\text{資本金等の金額} \times 0.375\% + \text{所得金額} \times 6.25\%) \div 2$$

※資本金等の金額は、資本の金額と資本積立金の合計額を指します。

個人の場合も、特定公益増進法人に対する寄附金としての「特定寄附金」に該当し、所得税の寄附金控除(所得控除)を受けることができます。

寄附金控除(所得控除)額=次のいずれか低い金額-2,000円

イ その年に支出した特定寄附金の額の合計額 ロ その年の総所得金額等の40%相当額
(所得税法第78条、同施行令第217条)

ご寄付に
感謝

寄付額に応じて総理、大臣から感謝状をお贈りします。一定額以上については、紺綬褒章授与の対象となります。ホームページ、Facebook、パンフレットなどでご紹介させていただくことがあります。



こどもの未来応援基金

のつかいみち

公募、審査を経て、各地のさまざまな支援団体の活動に役立てられています。
(令和7年度採択から)

令和7年度は、
さまざまな分野の
125団体を
採択、支援。

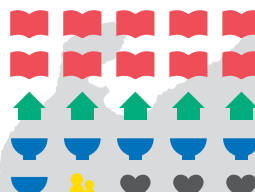


-  学びの支援 35件
-  居場所の提供・
相談支援 41件
-  衣食住など
生活の支援 30件
-  児童またはその保護者の
就労の支援 1件
-  児童養護施設等の退所者等
や里親・特別養子縁組
に関する支援 4件
-  新たな社会課題や
支援ニーズに
対応した事業 4件
-  その他の支援 10件

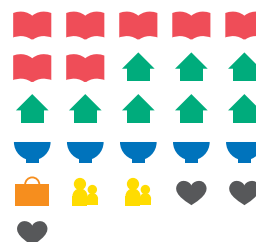
北海道・東北



中部



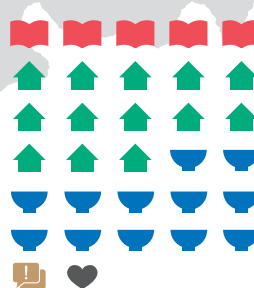
関東



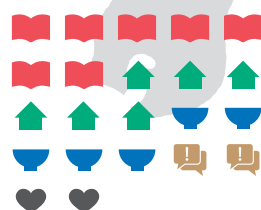
中国・四国



近畿



九州・沖縄



過去の採択団体はこちら

「こどもの未来応援国民運動」
ホームページ

各地の支援団体 ▶



北海道  くっちゃん子ども子育て応援隊
Popke Lab★
 石狩シェアハビシティ計画
 永山ホビーキッチン
 くるくるネット★

青森県  学びどき

宮城県  鶴が丘一丁目町内会★
 やっぺす★
 TEDIC★
 復興支援士業ネットワーク★

群馬県  虹色の会 よっちゃん家井野川★

埼玉県  MiKOねっと
 こどもの居場所づくり in かわぐち★
 コンパスナビ
 マナビダネ
 彩の子ネットワーク★
 オハナプロジェクト★

千葉県  想創★
 ハイティーンズサポートちば★
 BRIGHT★
 Eurekacoco
 鬼まち一家

東京都  夢職人
 あじさいの集い富士見★
 glolab
 キッズクラフト
 女性ネットSaya-Saya
 フードバンク大田★
 Masterpiece
 青草の原
 サンカクシャ★
 あさがおプロジェクト
 startupあさひ塾

神奈川県  まちのかぜ★
 宮ノマエストロ★
 DV対策センター

新潟県  えんでば
 フードバンクつばめ★

石川県  WEKプロジェクト★
 なんぶひらがり食堂

福井県  BRICOLAB★

山梨県  蓬沢いきいきサロン
 WakuWakuの家★
 basewithYouth

長野県  こどもの未来をかんがえる会
 長野県社会福祉協議会

岐阜県  よだか総合研究所★

愛知県  なないろ支援
 LiveQuality HUB★
 ママライフバランス
 ファミリーステーションRin
 びすた〜り
 MIRAIProject
 子育て支援を考える会
TOKOTOKO★
 草の根ささえあいプロジェクト★
 ヴインタージプラス

 エム・トウ・エム
 未来キッズアカデミー
 教員副業コーディネーターまちまち
 愛知夜間中学を語る会★
 はすばな福祉会

三重県  心結舎
 いさやまワイワイハウス

滋賀県  Since
 彦根子どもサポートネットワーク★

京都府  ここたす
 satoyamaにこちゃん
 ドレミ子ども食堂23
 ママキラ☆プロジェクト★

大阪府  子どもネットワーク・ワルツ★
 CPAO★
 いいねきーたん実行委員会★
 キリン子ども応援団★
 東深井つどいば食堂 ふらっと★
 みんなのIBASYOプロジェクト★
 ココまな★
 志塾フリースクールラシーナ★
 秀和福祉会
 子ども食堂 ほし組フレンズ
 こども基地
 WAIKI★
 オートレランス
 子どもの居場所Yu-Ya
 地域交流サロン・ぶらっと都島

兵庫県  全国夜間中学ネット
 ビアサポート研究会★
 こどもサポートステーション・たねとしずく★
 このはホーム
 健康育児相談所★

奈良県  フードバンク奈良
 市民ひろばなら小草★
 柳本こどもあさごはん部実行委員会

和歌山県  サークル「もぐもぐ」★

鳥取県  愛光会

岡山県  f.saloon

山口県  コネクト・ワン
 彦島ぼればれ
 地域食堂ぶらさーる

徳島県  うみのこてらす★

香川県  魅祿會
 メタセコイヤの家★
 きかざりMADE協会★

愛媛県  ラ・ファミリエ
 みんなダイスキ松山冒険遊び場

福岡県  いとしま児童クラブ★
 舞台アート工房・劇列車★
 ふくおかこども食堂ネットワーク★
 チャイルドケアセンター★
 こどもの居場所サポートふくおか
 mixjam
 育ちと学びの応援団
 カメレオンのしっぽ

佐賀県  マミア
 こどもとねっと★

長崎県  つながる長崎★

熊本県  ネイチャーサイエンススクール★
 コレクティブ
 わらびかみ★
 ほくほく教室

大分県  権利擁護支援センターたけたねっと
 佐伯こどもカンパニー

宮崎県  アシストリンク
 DreamSupport

鹿児島県  かごしまヤングケアラー
支援ネットワーク

沖縄県  地域共生ライフアップ
 乙羽会



「こどもの未来応援基金」の活用事例

「こどもの未来応援基金」にお寄せいただいたご寄付は、「未来応援ネットワーク事業」を通じて、様々な支援活動に役立てられています。

様々な学びの支援 …… 進学率の向上や退学率の低減などを図る

無料学習塾と無料こども食堂の運営

〔三重県〕NPO法人 学び場子ども食堂

「学び場子ども食堂」(三重県)は、「友達と集える場所・食・学力支援の提供」をセットで構築することを目的として、令和3年に立ち上げました。

令和5年度こどもの未来応援基金の支援事業では、南伊勢町内南勢地区在住のひとり親家庭、就学援助・生活保護家庭の児童生徒を対象に、週に1回、無料学習塾及び無料こども食堂を実施しました。参加した親子からは「学校で分からないところを聞いて分かるようになったと言っている、家庭でおいしく食卓を囲むことができた」「ここで毎週勉強することで学校の授業が分かるようになったし、みんなと勉強できることがとても楽しい」「お弁当の種類が多くて嬉しい」といった声が寄せられています。



集中して勉強中

居場所の提供・相談支援 …… 社会的孤立の解消などを図る

山間地域の不登校児等を対象とした、森と古民家のユースセンター事業

〔岐阜県〕一般社団法人 よだか総合研究所

令和6年度こどもの未来応援基金の支援事業では、週1回、ユースセンターを開き、居場所や遊び場、自然体験プログラム、カウンセリングや進路相談、プロジェクト型学習などを実施。主な対象は「18歳以下のこども」ですが若者や保護者の参加も想定しています。

参加者からは「何かをしてもいいし何もしなくてもいいのが、気楽でいい」、「焚き火や料理をしたり、山登りや秘密基地で遊んだり、自由にいろいろなことができるのが好き」といった声が寄せられています。自殺や引きこもりを予防する一時避難所としての安心できる居場所の提供や、地域社会や自然の中での豊かな体験を通じて、生きる力や「自己効力感」、社会性を育む居場所を提供します。



たき火の様子

衣食住など生活の支援 …… 栄養ある食事の確保や正しい生活習慣の習得などを図る

フードパントリーとこども宅食事業

〔埼玉県〕NPO法人 オハナプロジェクト

令和6年度こどもの未来応援基金の支援事業では、月1回、18歳までの子を扶養し生活困窮に陥っている世帯を対象に、「オハナ子育て応援フードパントリー」やこども宅食など、食料品や日用品等の無償提供をきっかけとした伴走型支援を実施しています。

参加したご家族からは、「今月は仕事の都合で支援品を直接受け取れませんでしたでしたが、帰宅したら玄関に荷物があ、お花とメッセージカードまであって驚きました。誕生日だと言ったのを覚えていてくれて嬉しい」といった声が寄せられています。支援品を配布するタイミングで利用世帯との定期的な会話やヒアリングを重ね、情報発信や行政制度の案内等を行い、利用世帯の保護者やこどもたちが将来的に自立できることを目指します。



配布する支援品の例

🛒 児童またはその保護者の就労の支援

…… 就労率の向上や安定した収入の確保などを図る

誰ひとり取り残されない就労支援を目指して

[大分県]NPO法人 キャリアサポート

令和2年度と3年度の支援事業では、引きこもり等の状態にあるこども・若者を対象に、キャリア教育や職業人講話等のセミナーを実施し、2年間で370名が参加しました。参加者からは「視野が広がり、何かやって挑戦してみたいという気持ちが湧いてきた」「セミナーを通して仲間ができて、すごく楽しい」といった声が寄せられています。

令和5年度支援事業では、既存事業に加え、新たな取り組みとして、月4回の職場体験事業を実施する予定。地域のNPOや企業等と連携し、本格的な実務体験を行うことで、こども・若者の社会性の構築と仕事への不安解消が期待されます。



自己理解ワークの様子

👤 児童養護施設の退所者などや里親・特別養子縁組に関する支援

…… 児童養護施設などの退所者などの生活基盤の確立、里親委託率の向上などを図る

音楽とアートでこどもの自己肯定感を高める

[千葉県](一社)COCO POLTA(ココポルタ)

令和5年度支援事業では、養育里親・特別養子縁組里親家庭のこどもを対象に、音楽に合わせて体を動かしたり、アート作品作りをすることで、自由な自己表現の場を提供するワークショップを開催しています。参加したこどもからは、「最初は緊張したけど、音楽やアートは自分を少し違う世界に連れて行ってくれる感じがする」「自分の作った作品にみんながおお～って言うてくれたりすると嬉しい」「同じ境遇の子と知り合うきっかけができてよかった」といった声が寄せられています。今後は地域住民参画型のイベントも新設し、既存事業と同時展開していくことで、イベントに参加するこどもと地域住民が自然と触れ合い、支えあえる機会の構築を目指しています。



作品作りの様子
気持ちをカタチで表現する。

♥️ 新たな社会課題や支援ニーズに対応した事業

…… 若年妊婦やヤングケアラー、若者など、様々な対象者への支援の拡充を図る

こどもの食支援とヤングケアラーへの理解促進

[東京都]あじさいの集い富士見

令和5年度こどもの未来応援基金の支援事業では、地域の母子寮やひとり親世帯の親子を対象に、月2回のこども食堂、月1回のフードパントリーなどを行ってきました。参加した親子からは、「から揚げをもう一度食べたい」「友達と食べるともっとおいしくなるし、とっても楽しい」「スタッフさんと一緒にこどもの成長を喜ぶことができるので、子育ては孤独でないと実感している」といった声が寄せられています。

令和6年度こどもの未来応援基金の支援事業では、既存事業に加え、これまでの支援活動を通じたヤングケアラーとの出会いから、地域のヤングケアラーに対するピアサポートの相談支援や、福祉・行政機関等に対するヤングケアラーへの理解促進のための研修会を開催する予定です。



気軽に訪れやすい場所づくり



企業や団体からの ご寄付もあります

●ご寄付いただいた企業・団体の一部をご紹介します。

令和6年12月31日時点

ご寄付の方法は(独)福祉医療機構ホームページの
「こどもの未来応援基金」ページ(右QRコード)でもご案内しています。

